

# 千綿っ子だより

ちからを合わせて  
わらい声あふれる  
たのしい学校



## 席替えの一コマ

「先生、席替えをしましょう。」

以前、私が学級担任をしているとき、子供がこのようなことを言う場面が何度もありました。席替えは、その時々で様々な意義を有しています。学習面の配慮のためであったり、友人関係構築のためだったり…。当然、教師の思いやねらいがあつての席替えです。

しかし、私は、ある時、「自由」という方法で席替えをさせたことがあります。子供たちにすべてを委ねました。今号は、その時の様子をお話します。

今まで「自由」という席替えの方法はやっていなかったもので、子供たちは大喜びです。自然と話し合いを仕切っていく子供が出てきて、前に立って話し合いが進んでいきました。(私は教室の自席でじっと見ているだけです)

子供たちの様子はこうです。

自分の座席が決まったら安心して、近くの仲良しの子としゃべり始めます。そこには、「自分たちはここの席にするから、他は入って来ないでよ」という思いが伝わってきます。座席は、全員が決まってから最終確定となるのですが。

また、別のところでは、どんどん座席をとっていく友達を前に、決まらずに困ったり悲しそう表情を浮かべたりする子もいます。その様子に気付いて、心配そうに眺めていたり声をかけたり、アドバイスをしたりする子がいます。その反面、全く無関心で、「自分は決まったからあとは知らない」と言わんばかりの態度の子がいます。

「自由」席替えて、私の学級の課題が見えてきました。

- ・自分さえよければ、他が困っていてもかまわない
- ・仲良しの友達と一緒にないと不安である
- ・全体を見渡す意識が低い



私は、千綿小学校の子供たちに、「ちからをあわせて わらい声あふれる たのしい学校」をつくろうとメッセージを届けてきました。特に、2学期は大きな行事「運動会」もあり、学校生活の中で「ちからをあわせる」ことに光があたる学期になります。運動会に限らず、学校生活の中では、いろいろな話し合いを経て、決定し、行動することがあります。その中で、「自分の喜びの裏には誰かの我慢や思いやり」があるということ、「ちからをあわせる」ことは、必ず自分をよりよく成長させるということに気付かせていきたいと思えます。

### 【9月の主な行事】

9月2日(月) 始業式

3日(火) 体位測定5・6年

4日(水) 体位測定3・4年

5日(木) 体位測定1・2年 体育教室

6日(金) 委員会活動

9月11日(水) 体育教室 校内作品展

13日(金) 授業参観・懇談会

19日(木) 宿泊学習5年(～20日)

27日(金) 避難訓練

30日(月) クラブ活動